



今月の大槌とびと

慈愛サポートセンターのみなさん

10月に吉里吉里の吉祥寺境内に設立された「慈愛サポートセンター」では、地域の様々な課題に目を向け、より安心して生活できる吉里吉里地域を目指します。

今月は、サポートセンター支配人の倉本忍さんと吉祥寺の住職で設立運営にも携わっている高橋英悟さんにお話しを伺いました。

「日常」と「繋がり」を守る

高橋さん——震災当初、吉祥寺は避難所として活用され、その後も様々な団体の支援活動の拠点となることがありました。その中で、「仮設住宅に入居している人」と「被災しなかった在宅の人」との隔たり、例えば、支援物資はどうしても仮設住宅に入居している人が優先となってしまう、被災しなかった方々には中々行き届かなかつたりするようなことなどがありました。それに、今年はコロナウイルスの影響で毎年当たり前のようにできていた、お墓参りもできず、お墓の管理についての問合せがたくさんありました。

震災やコロナウイルスは、いままで築き上げてきた「日常」や人との「繋がり」を大きく

く変えてしまったのだと感じています。そして、こんな時だからこそ、地域の方々が手を取り合い、地域のコミュニティを維持していくことで、今ある福祉制度では行き届かないことにも手を差し伸べることができると思い、この度「慈愛サポートセンター」を開設する運びとなりました。

このサポートセンターは吉祥寺の境内の中にあり、スタッフも全員が吉里吉里在住です。お墓の管理ことももちろん、地域の困りごとや日々の生活の中で悩みなど、どんなことでもいいので気軽に相談してほしいです。

次の世代に希望を残していく

倉本さん——17年間務めた会社を退職し、慈

愛サポートセンターで勤めることにしました。この地域に思い入れがあるし、少しでも地域の力になればと思います。

高齢化はどんどん進み、若い人が少なくなっているのはどの地域もそうだと思うし、これも同じです。そういう状況の中で、高齢の方が安心して暮らしていける地域になることで、次の世代も生活に安心感を持つのだと思います。また、町外で頑張っている世代が、吉里吉里にいる家族のことを心配せずにいられるようにしたいです。

そして今、保育園や学校に通っている世代が子育て世代になったときに、「ここに残りたい」と思ってもらえるような地域になるよう、地域全体で考えていきたいと思っています。

問い合わせ

上閉伊郡大槌町吉里吉里 4-4-7 吉祥寺内
TEL 0193-43-1020・080-6003-2533

メール jiaikirikiri@gmail.com